

第 25 期・第 1 回地球惑星科学委員会 IGU 分科会 ICA 小委員会議事要旨

開催日時 2020 年 12 月 8 日 (火) 13:00-14:30

開催場所 遠隔会議 (主催会場: 東京理科大学)

出席者 伊藤香織, 石川 徹, 小口 高, 春山成子, 氷見山幸夫, 森田 喬, 矢野桂司,
渡辺浩平

委員候補者 (オブザーバ): 若林芳樹

欠席者 中谷友樹

配付資料

資料 1 第 25 期 ICA 小委員会委員

資料 2 代表派遣会議の募集について

資料 3-1 ICC2021 開催に関わる情報

資料 3-2 ICC2021 ウェブサイト

資料 4-1 第 25 期 ICA 小委員会設置提案書

資料 4-2 第 24 期第 3 回 ICA 小委員会議事要旨

議題等

(1) 役員決定について

- 委員長を伊藤委員, 副委員長を森田委員, 幹事を渡辺委員, 若林委員に委嘱することになった.

(2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について

- 8 週間以内にメールで確認し, 最終版提出は委員長一任とする (最終版は委員に報告)

(3) 小委員会委員間のメールアドレス共有について

- 委員間のメールはアドレスを共有することを承認した.

(4) 小委員会のメンバーについて

- 今期のミッションをふまえて委員を追加する.

(5) 代表派遣会議の募集について

- 若林委員の ICC2021 への派遣を推薦することを決定した.

(6) ICA の動静

- ICC2021 大会が 2021 年 12 月に延期された。発表募集の日程は未定。
- ICC EC + Commission chair meeting (2020 年 10 月 24 日開催) の報告があった。

(7) 第 25 期の活動について

1) 国際的な日本のプレゼンス向上

- ICA の日本委員会のウェブサイトを開設し、実所在地（日本学術会議）に加えて日本側の情報発信窓口を設ける。代表者は ICA 小委員会委員長が務める。ウェブサイトの開設が可能かどうかを学術会議事務局に確認する。

2) 国内の人的交流

- 国内でのプレゼンスを高めるために、地球惑星科学委員会、JpGU での visibility の向上を図る。そのために ICC2019 のコンセプトを活かす。ウェブサイトの開設は必須。
- 地図学コミュニティの社会的役割を果たす（たとえば COVID-19 対応）。
- 来年の学術フォーラムへ参加し、活動報告を対外的に行って社会へのアピールに努める（森田委員が担当）。
- 地図をプラットフォームにして、関連する官民の技術系、アート系、教育系を巻き込むことも可能。関連学会連合を組織することも考えられる。
- 小委員会のメンバーを拡充する（国土地理院、海洋情報部、リモセン系など；オブザーバーあるいは正規委員として）。
- まず 3 年間の目標を明確にする。Cartography for society というコンセプトはどうか。
- 当面の課題（COVID-19、ハザードマップ、SDGs など）を設定し、その利活用のための地図の使い方の教育・啓蒙活動など。
- ターゲットは、提言、シンポジウム開催。
- 委員の追加は幹事会へ提案する（IGU 分科会の承認は不要）。ただし、委嘱に 1 ヶ月かかる、最速は 12/24 まで提出すれば 1 月の幹事会にかかり 2 月中に委嘱可能。

(8) その他

次回は 2021 年 3 月以降に開催予定。

以上